



I 計画概要	
<b>【基本理念】</b>	市民が楽しみ ともにつくる スポーツのまち
<b>【計画期間】</b>	平成30年度から令和9年度 (令和4年度・5年度中間見直し)
<b>【目標数値(年間)】[R4]→[R9]</b>	・成人の週1回以上のスポーツ実施率 [65.0%]→[65.0%] ・京都府民総合体育大会入賞競技数 [10競技]→[10競技] ・公共スポーツ施設の利用回数 [14,500回]→[16,000回] ・スポーツイベント参加者数 [17,000人]→[20,000人]

II 目標数値の達成状況 R4実績(R4達成率)	
成人の週1回以上のスポーツ実施率	49.7% (76.5%)
京都府民総合体育大会入賞競技数	6競技 (60.0%)
公共スポーツ施設の利用回数	15,045回 (103.8%)
スポーツイベント参加者数	8,164人 (48.0%)

III 基本目標]取組の方向・具体的な取組	
ライフステージに応じたスポーツ施策の推進	(1)スポーツによる市民の健康・体力づくりの促進 ①スポーツを楽しみながら培う健康・体力づくり ②スポーツによる自己の健康管理の意識付け ③女性が楽しめる体力づくりの促進
	(2)高齢者スポーツの推進 ①高齢者の生きがい・健康づくりの促進 ②高齢者向けスポーツの普及 ③高齢者の社会参加の促進
	(3)子どものスポーツ機会の充実 ①体力・運動機能の向上 ②学校体育との連携 ③スポーツ教育の推進
	(4)身近にスポーツを親しむ環境づくり ①魅力あるスポーツ事業の創出 ②「総合型地域スポーツクラブ」の育成・支援 ③障害者のスポーツ活動の推進
スポーツ競技力の向上	(1)競技力の向上 ①ホストタウンの取り組みと国際大会の開催 ②ジュニアアスリートの養成 ③学校部活動からの競技力の向上
	(2)指導者の育成・確保 ①人材育成や発掘・確保と活用体制の充実 ②指導力の向上 ③スポーツ推進委員の活動並びに資質向上
	(3)身近で利用しやすいスポーツ・レクリエーション施設の整備、充実 ①社会体育用学校施設開放事業の推進 ②社会体育施設の配置と利用サービスの向上 ③スポーツしやすい環境の整備
スポーツ観光のまちづくり	(2)スポーツ施設等の管理運営 ①管理運営体制の強化 ②スポーツ施設予約システムの充実 ③競技系専門施設の利活用の促進
	(1)滞在型スポーツ観光の促進 ①スポーツイベントやアクティビティの活用 ②外国との交流を進めるホストタウンへの取り組み
	(2)スポーツ観光の情報発信 ①スポーツ観光の情報発信 ②競技スポーツ情報の提供
(3)交流促進 ①スポーツを通じた交流促進 ②スポーツにおける広域連携 ③スポーツを活用した総合的なまちづくりの推進	

IV 社会情勢等	
<b>1.スポーツ基本計画(国)</b>	
①第1期スポーツ基本計画(H24～H28)	②第2期スポーツ基本計画(H29～R3)
③第3期スポーツ基本計画(R4～R8)	
<b>2.社会状況の変化[H29～R3]</b>	
①新型コロナウイルス感染症 ・感染拡大により、スポーツ活動が制限	②東京オリンピック・パラリンピック競技大会 ・1年延期後、原則無観客で開催
③その他社会状況の変化 ・人口減少・高齢化の進行 ・地域間格差の広がり ・DXなど急速な技術革新 ・ライフスタイルの変化 ・持続可能な社会や共生社会への移行 ・部活動地域移行の方向性(国)	
<b>3.第3期スポーツ基本計画</b>	
スポーツの価値を高めるための「3つの視点」	
①スポーツを「つくる/はぐくむ」	②スポーツで「あつまり、ともに、つながる」
③スポーツに「誰もがアクセスできる」	

V 京丹後市の現状	
<b>1.進捗状況、現状等</b>	
①人口減少、世帯数は増加傾向	②年齢階層別人口推移は、15歳未満人口と15歳～64歳人口が減少傾向、65歳以上人口は増加。高齢化率は37.2%で上昇
③成人の週1回以上のスポーツ実施率は、40.9%(H28)から49.7%(R4)へ上昇	④R2、R3は、コロナ禍により体育施設の利用制限はあったがR4年度は目標値(14,500回)を上回った。
⑤コロナの影響により、スポーツイベントの参加者は大きく減少した。	⑥峰山途中ヶ丘公園陸上競技場(日本陸連公認第3種)が令和2年にオープンし、カヌーセンターも竣工したことにより、大会、合宿誘致を進めている。
⑦体育協会の組織強化(R4～スポーツ協会)	

VI 京丹後市の課題	
<b>【1】成人の週1回以上のスポーツ実施率は、目標を下回った状態である。</b>	
・運動不足を感じている→男性では30代、女性では30代から50代までの就労や子育て世代が多い。 ・健康管理や体力の保持増進のために心がけていること→運動、スポーツは10%。最も多いのは食生活に気をつけるが25.5%。 ・好きなことができる時間→「運動・スポーツ」の回答は少ない。 ・スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブの認知度が低い	
<b>【2】京都府民総合体育大会入賞競技数の目標値が達成できていない。</b>	
・子どもの減少、指導者不足、青少年スポーツ教室の存続が困難 ・中学校運動部活動の生徒在籍状況から、少子化の進行により学校によっては競技種目が限られる。運動部活動地域移行検討。 ・体カテスト ・スポーツ協会(体育協会)登録者の減少	
<b>【3】老朽化したスポーツ・レクリエーション設備等の整備が必要</b>	
・スポーツの振興・発展のために、市に求めることとして「スポーツ施設の整備・充実」が38.6%で最も多い。	
<b>【4】スポーツイベント参加者数が目標数値より下がった状態である。</b>	
・京丹後市が主催するスポーツイベントに参加したことがある人は19.1%年代で見ると20代が26.0%と最も多く、70代は10.2%と低い。40代以下の年代はスポーツイベントの認知度が低く、50代以上は、知っているが参加したことがない人が多い。	

VII 計画概要	
<b>【基本理念】</b>	市民が楽しみ ともにつくる スポーツのまち
<b>【計画期間】</b>	令和6年度から令和9年度
VIII 目標数値	
<b>【目標数値】 [R9]</b>	・成人の週1回以上のスポーツ実施率 ・京都府民総合体育大会入賞競技数 ・公共スポーツ施設の利用回数 ・スポーツイベント参加者数

VII 基本目標]取組の方向	
ライフステージに応じたスポーツ施策の推進	(1)スポーツによる市民の健康・体力づくりの促進
	(2)高齢者スポーツの推進
	(3)子どものスポーツ機会の充実
	(4)身近にスポーツを親しむ環境づくり
スポーツ競技力の向上	(1)競技力の向上
	(2)指導者の育成・確保
スポーツ・レクリエーション環境の整備・充実	(1)身近で利用しやすいスポーツ・レクリエーション施設の整備、充実
	(2)スポーツ施設等の管理運営
スポーツ観光のまちづくり	(1)滞在型スポーツ観光の促進
	(2)スポーツ観光の情報発信
	(3)交流促進